News Release

2026 年 8 月 27 日

報道関係各位

2026 年、「026（おふろ）」にちなみ入浴文化を見つめ直す

「ざぶんの幸せ」川柳コンテスト 8 月 26 日作品募集開始

～お風呂の幸せや思い出を川柳に。入浴文化を次世代へつなぐ～

株式会社ツムラ（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：加藤照和、以下、当社）ヘルスケアカンパニーは、入浴文化伝承企画「ざぶんの幸せ」プロジェクトの一環として、「ざぶんの幸せ川柳コンテスト」を 2026 年 8 月 26 日（水）から 10 月 26 日（月）まで募集します。

2026 年の「026」を「おふろ」と読めることにちなみ、当社では本年を、入浴文化を改めて見つめ直す機会と捉えています。「いい風呂の日（11 月 26 日）」に向けて、入浴の価値を伝えるさまざまな取り組みを展開します。

自然と健康を科学する

お問い合わせ先
株式会社ツムラ　コーポレート・コミュニケーション部　広報課 担当：林、茂木
〒107-8521 東京都港区赤坂 2-17-11　TEL.03-6361-7100 shuzai@mail.tsumura.co.jp

近年、ライフスタイルの変化やタイパ（タイムパフォーマンス）志向の高まりなどを背景に、湯船につからずシャワーだけで済ませる人が増えています。また、SNS を中心に「風呂キャンセル（風呂キャン）」という言葉が広まり、お風呂に入らないことが話題になるなど、人々とお風呂との関係にも変化が見られています。

一方で、お風呂は身体を清潔にするだけでなく、湯船につかることで身体が温まり、血行が促されることで、心身のリラックスや質の良い睡眠につながるなど、私たちの健康を支えるさまざまな価値があります。また、一日の疲れを癒やし、自分自身と向き合う時間であり、家族との会話や人とのつながりを育む場所でもあります。日本では古くから、入浴は心身を整える“養生”の一つとして、人々の暮らしに根付いてきました。

そこでツムラは、人々がお風呂で感じる幸せや思い出を川柳として表現する「ざぶんの幸せ川柳コンテスト」を開催します。本コンテストを通じて、お風呂がもたらす心身へのさまざまな健康価値や、日々の暮らしの中で育まれてきた入浴文化を改めて見つめ直し、入浴という身近な“養生”を未来につないでいくことを目指します。

「ざぶんの幸せ」プロジェクトとは

「ざぶんの幸せ」プロジェクトは、入浴の情緒的・機能的価値を広く伝え、お風呂に入る習慣と日本の入浴文化を次世代へつなぐことを目的とした取り組みです。

「自然と健康を科学する」という経営理念のもと、入浴を心身の健やかさを支える“養生”の一つと捉え、人々の健やかな暮らしへの貢献を目指します。

■コンテスト概要

コンテスト名称

「ざぶんの幸せ」川柳コンテスト

お風呂でほっとした瞬間。
家族との何気ない会話。
湯船につかったときに感じる解放感。
そんな「お風呂に入る幸せ」を五・七・五で表現していただく川柳コンテストです。
お風呂で感じる幸せや思い出、家族とのエピソードなどを募集し、生活者一人ひとりの言葉を通じて、「ざぶんの幸せ」を社会に広げていきます。

募集テーマ

「ざぶんの幸せ」 あなたにとっての「お風呂の幸せ」を自由に川柳で表現してください。
例えば、

- お風呂でほっとした出来事
- 家族で過ごしたお風呂の思い出
- 子どもとのコミュニケーションの時間
- 一人でゆっくり過ごす時間
- 毎日の楽しみや習慣

など、お風呂にまつわる幸せな体験やエピソードを幅広く募集します。

募集期間

2026 年 8 月 26 日（水）～2026 年 10 月 26 日（月）

応募方法

特設応募フォームより応募
https://www.asahi.com/ads/zabun-senryu2026/

結果発表

2026 年 11 月 26 日（木）「いい風呂の日」
朝日新聞紙面、朝日新聞デジタル、高輪ゲートウェイ Mon Takanawa　4 階 Tatami（montakanawa.jp/facilities/tatami/ ）での表彰式、ツムラホームページ等で発表予定

審査員

・小山薫堂さん（湯道文化振興会代表理事）
放送作家。脚本家。「料理の鉄人」など斬新なテレビ番組を数多く企画。
映画「おくりびと」で第 81 回米アカデミー賞外国語部門賞を獲得。
「くまモン」の生みの親でもあり、京都芸術大学副学長、2025 年大阪・関西万博のテーマ事業プロデューサーなどを務める。
日常の入浴を文化として捉える「湯道」を提唱し、初代家元を務める。

・林真理子さん（作家）
1982 年にエッセイ集『ルンルンを買っておうちに帰ろう』でデビュー。『最終便に間に合えば』『京都まで』で直木賞を受賞するなど、数々の文学賞を受賞。
エッセイから歴史小説まで、幅広いジャンルでの執筆を続けている。

・尾藤川柳先生（十六代目川柳／一般社団法人川柳文化振興会常務理事）
十六代川柳。川柳公論社主宰、女子美術大学特別招聘教授。川柳の創作・研究・普及に長年携わり、川柳文化の継承・発展に尽力。『川柳総合大事典』『川柳のたのしみ』などの編著書がある。

賞
・大賞（1 句）　２６万円（ふろ）＋副賞（バスハーブ 1 年分）
・くすり湯賞（1 句）　６万円＋副賞（バスハーブ半年分）
・湯道賞（小山薫堂さん）（1 句）　５万円＋副賞※
・審査員賞（林真理子さん、尾藤川柳先生）（２句）各 1 名　５万＋副賞※
・朝日新聞社賞（1 句）　３万円＋副賞※　※副賞：ツムラのお楽しみセット

株式会社ツムラ ヘルスケアカンパニーについて

漢方製剤を中心に医薬品の製造・販売を行う株式会社ツムラのヘルスケアカンパニーは、一般用漢方製剤、医薬部外品、食品などを取り扱い、一人ひとりのライフステージや健康状態に合わせた製商品・サービスをエビデンスを元に提供し、養生から未病・予防、治療までを支える「生涯健康サポート」を通じて、人々の well-being に貢献します。

※ヘルスケアカンパニーは、株式会社ツムラが 2026 年 4 月に導入した社内カンパニー制における事業単位であり、独立した法人ではありません。

ツムラのくすり湯「バスハーブ」（医薬部外品）について

6 種の生薬の作用で、温浴効果を高め、冷え症や肩こり、腰痛、疲れを緩和する、有効成分 100%生薬エキスの薬用入浴液です。
生薬の香りと自然な草色がお湯に広がり、小さなお子様でも毎日お使いいただけます。

販売名：バスハーブ

ブランドサイト：https://www.tsumura.co.jp/brand/special/bathherb/